



【運動会】
園児の元気な姿に元気もらいます。
対抗リレー、盛り上がりましたね！



【グラウンド・ゴルフ】
いつもはもっと上手いのですが、
注目されると手元が狂います(笑)



【流しそうめん】
子どもたちと昼食を兼ねて頂き
ました。裏方の皆さん、ご苦労様！



【体育祭】
地域の交流を深める体育祭に顔出し。
競技に飛び入り参加することも。



【白みりん200周年】
白みりん発祥の地にて皆様と一緒に祝い。
料理の名脇役、主役になる日も近いのでは。



【バーベキュー大会】
多くの方と交流のひと時を満喫。
でも食べる時間がないので残念。



【陶芸】
気に入った作品は自宅に使っています。
次回はどんな逸品に出会えるのか。



【ミニ集会】
皆様の生のお声を聴くのは、ミニ集会
が一番！ぜひお声がけください。



【将棋】
すでにお父さんより強くなった子も。
さいとう健も将棋少年でした！

さいとう健君 写真館



戦い

やこう健の

当選1期目の野党時代は、

自民党はじまって以来のこととして、
当選わずか40日で環境部会長に。また、
当選2ヶ月後にはテレビ入り予算委員会
で質問。「影の内閣」の環境大臣として、
表の環境大臣と国会論戦を渡り合う。

3月11日以降は、復興庁の創設、
ガレキ処理法案等の議員立法を立て
続けに行く。特に、地元ホットスポ
ット問題では条文作りから参画し、法案
成立後も除染対象区域を狭くしようと
する政府に対して「政権を取り戻し
たら全部直します」など、熱のこもつ
た質問を行う。

与党になった当選2期目は、

直ちに環境大臣政務官に。大臣の代理
で出席したドイツでの国際会議では、
ジョークをまじえながら、各国大臣と
渡り合う。

その後、党の農林政策の責任者である
農林部会長に就任。農林関係議員以外
からの部会長就任は極めて異例。新しい
農業の姿を求めている戦いが評価され、
これまた異例の留任。

＜1期目＞

- ①東日本大震災復興基本法案を議員立法し、
成立させる。
- ②ホットスポットの除染範囲の拡大を国に求め、実現させ、
放射性焼却灰の処理を、自治体ではなく国に行わせる。
- ③国会質問での正論直球勝負で、建設的な議論を展開
する。

＜2期目＞

- ①原発再稼働が見通せなくても、CO2削減目標は必要と
主張し、認めさせる。
- ②40年ぶりに米の生産調整の見直しを行う。
- ③60年ぶりの農協改革を断行し、TPPでは、き然とした
対応を貫く。



【農林部会】
石破幹事長・高市政調会長(当時)も参加
する農林部会にて部会長として取り仕切り。



【国会見学】
職場仲間であられた皆様と一枚。
ご希望の方は、いつでもご案内致します。



【写真展】
写真展を鑑賞。長年にわたり世界中で
撮られた作品に感心しました。



【市民まつり】
今年は式典しか顔出しが出来なくて
残念。来年はゆっくり楽しみたいです。



【開通式】
梅郷西駅新線の開通式に参加。
山崎交差点渋滞の緩和を期待します。



【文化祭】
伝統芸能を継承する大切さを実感。
素晴らしい舞踊も拝見しました。



【手工芸】
皆様の愛情を注いだ作品に、
いつも驚かされます。



【学園祭】
皆さんの気持ちのこもったよさこい踊り、
楽しく見させてもらいました。



【消防団】
防災をはじめ地域活動への取り組みに、
いつも感謝しています。

こだわり

さいとう健の

強くて夢のある経済を段取りよく作り上げる。

消費税10%への引き上げは、今は不適當。1年半は体を休める
べきです。同時に、電気自動車や燃料電池車、更には再生医療など
など人に優しく爆発的な需要が見込める夢のプロジェクトに、国を
あげて取り組みます。

自分の将来が見える年金・医療を
作り上げる。
大事なことは、将来いくら年金を受け
取れるのか、病気のときどうなるのか、
あらゆる世代に対してはつきりさせる
ことです。そしてその財源は、薄く広く
自分たちで負担してゆく。わかりやすく
見通しの効く制度こそ、自助努力の前提
です。

暮らしの安全保障を強化する。
地震が来たら、まずどうするか。こどもへの教え込みをはじめと
して、あらゆる面で災害防衛策を再構築していきます。また、脱
原発依存につながる再生可能エネルギー推進を柱とするエネルギ
政策、食糧自給率向上を目指した農業政策に力を入れます。

世界ナンバー1の教育を
取り戻す。
日本にとって、人材こそ
唯一の資源です。この唯一
の資源である人材育成に、
学力低下やいじめなど様々
な問題が出ていることは
国家的一大事です。国の
存亡をかけて教育の再生と
人材の育成に、全力を尽く
します。

強靱な地域社会を作る。
財政難の中で高齢化社会
を迎えようとしている今、
地域社会は分権化した上で
自立の道を進んでいかな
ければなりません。地方
自治体への権限移譲や、
努力する自治体へのバック
アップを通じて地方創生を
強力に後押しします。

